

—認知症家族ピアサポートとしての介護者ミーティングが 認知症の人の家族介護者に果たす機能と効果へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医療福祉大学倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。（承認番号：24-098）また、学長の許可を得ています。

1. 研究の目的

まつうらクリニック重度認知症デイケアでは、認知症の人の家族介護者を対象に年2回認知症家族ピアサポート活動（通称：家族会）を実施しており、プログラムとして介護者ミーティングを中心に行っています。認知症家族ピアサポート活動は、「同じ悩みや不安を抱えるご家族、介護者同士の交流による支え合いの場の提供」を通じ、認知症の方のご家族介護者の介護負担や、心理的負担軽減をすることができるとされています。しかし、認知症家族ピアサポート活動を対象とした研究は少なく、参加した家族介護者の心理状態の変化や特徴、参加による効果を理解することが求められています。

この研究は、重度認知症デイケアを利用する認知症の人の家族介護者を対象に実施した認知症家族ピアサポート活動の介護者ミーティングが家族介護者に果たす機能とその効果を明らかにすることを目的に実施します。

この研究により、認知症家族ピアサポート活動の機能と効果が明らかとなり、今後の認知症の人の家族介護者の支援に寄与することができると考えます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024年12月7日に医療法人宏仁会まつうらクリニック重度認知症デイケアで開催した家族会に参加された方を対象とします。

2) 研究期間

研究機関の長の実施許可日～2027年12月31日

3) 研究方法と使用する情報

2024年12月7日の家族会で実施した介護者ミーティングに参加した方の音声データおよびアンケートの分析を行い、認知症家族ピアサポート活動の機能と効果について調べます。

この研究に使用する情報は、以下の研究機関に提供させていただきます。氏名等のあなたを直ちに特定できる情報は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で提供させていただきます。提供後は、研究代表責任者である川崎医療福祉大学 作業療法学科 講師の徳地亮が保管・管理します。

6) 情報の保存及び取り扱い

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から10年、川崎医療福祉大学 徳地研究室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得た後、情報公開文章を作成し、お知らせいたします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日等のあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年7月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医療福祉大学 作業療法学科

氏名：徳地 亮

電話：086-462-1111 内線：9110（平日：8時30分～17時00分）

E-mail：tokuchi@mw.kawasaki-m.ac.jp

<研究組織>

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

研究代表機関名 川崎医療福祉大学

研究代表責任者 川崎医療福祉大学 作業療法学科 講師 徳地亮

既存情報の提供を行う機関名 医療法人宏仁会まつうらクリニック

責任者 院長 松浦隆彦

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医療福祉大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。